

令和5年第4回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 9月6日(7日・8日)

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
1	板津 博之 (会派きずな)	<p>1. 市議会議員選挙投票率低下の検証は(教育長、選挙管理委員会書記長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>7月30日に執行された可児市議会議員選挙の投票率は史上最低となる37.57%であった。猛暑の中での選挙戦だったことも一因と考えられるが、低投票率となった要因の検証と本市の投票率向上策について問う。</p> <p>質問1 期日前投票所の効果はどうだったか。また、運営面でのトラブルはなかったか。</p> <p>質問2 現在の期日前投票所の見直し、または、新たに期日前投票所を開設する計画はあるか。</p> <p>質問3 移動式投票所(マルモビ)の今後の運用計画は。</p> <p>質問4 本市では、投票率向上のためにどのような取り組み(啓発)をしてきたのか。</p> <p>質問5 小中学生への主権者教育という点でどのような取り組みをしているか。また、今後新たに組み込んでいく計画はあるか。</p> <p>質問6 市長選及び統一地方選の投票日と市議選の投票日を同時にした場合の効果について。</p>
2	渡辺 仁美 (可児未来)	<p>1. 生物多様性保全のために(市民文化部長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>生物多様性保全のためには市民の協力が不可欠である。市民や企業と協働し、暮らしや経済活動に支障なく温室効果ガス排出実質ゼロ型社会を目指すための事業を本市が主導し進めることを求める。</p> <p>質問1 可児市ゼロカーボンシティ宣言の意義について。</p> <p>質問2 ゼロカーボンシティをめざす上で市民に求めること。</p> <p>質問3 児童生徒や若者世代などからのアイデア聴取について。</p> <p>質問4 ゼロカーボンシティをめざす上で企業に求めること。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
3	松尾 和樹 (白い会派)	<p><u>1. 選挙の低投票率問題にどう取り組むか (選挙管理委員会書記長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>今年7月に実施された可児市議会選挙の投票率は37%と過去最低の低投票率となった。その背景には、政治への無関心や信頼の低下、真夏の投票所へのアクセス難など様々考えられるが、低投票率問題にどう取り組むか。</p> <p>質問1 可児高校での多目的公用車を使用した期日前投票の成果はどのように評価するか。</p> <p><u>2. 消防団員の熱中症を防ぐには (総務部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>令和5年8月10日16時26分頃に可児市広眺ヶ丘で建物火災が発生した。現場に駆け付けた消防団員の1人が、約1時間後に熱中症で倒れて救急車で運ばれた。担当課は消防団員の熱中症対策をどう取り組んでいるか。</p> <p>質問1 消防団員の熱中症対策はどうしているか。</p>
4	川上 文浩 (可児未来)	<p><u>1. 可児市の防災をどう進めるか (総務部長、市民文化部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>可児市運動公園が地域防災の拠点として果たす役割は。可児市内で想定される災害についての現状と見通しについてどのように考えているか、また、可児市消防団の現状と今後について、市民の防災意識向上について。</p> <p>質問1 可児市運動公園整備事業は国県からの補助が得られるとのことだが、その見通しは。</p> <p>質問2 可児市運動公園整備事業が大規模災害発災時に後方支援基地として果たす役割は。また、市内の災害について果たす役割は。</p> <p>質問3 市民の安心安全に係る補助制度は、市民が使いやすいものとなっているか。</p> <p>質問4 消火活動、水利の発見、団員の安全、市民の協力等これらの課題をどのように解決していくか。</p> <p>質問5 多くの市民から火災発生時の放送を望む声が上がっている。現状のすぐメールでの周知方法以外に手立てはないか。</p> <p>質問6 消防団への理解と協力を、どのように啓発していくのか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	高木 将延 (会派きずな)	<p><u>1. 交流・にぎわいの拠点としてのマーノについて (こども健康部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>2018年にオープンし、今年で5周年を迎えた子育て健康プラザマーノ。駅前という立地を活かした交流・にぎわいづくりの役割は果たしているのか。</p> <p>質問1 館内施設の利用状況について。 質問2 多世代交流促進の取り組みについて。 質問3 マーノ全館でのイベント企画について。 質問4 公共交通利用での来場が見込まれる他イベントとの連動について。 質問5 賑わい拠点として、他団体との連携担当について。</p>
6	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 物価高騰に困っている市民を守る対策は (市政企画部長、経済交流部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>大変な物価高騰が続いている。美濃加茂市では7月から3か月間、水道基本料金が減免になった。本市でも、水道料金など公共サービスの支出を免除・軽減するような市民全体にわたる物価高騰対策ができないか。</p> <p>質問1 市内での物価高騰の状況はどのようでしょうか。 質問2 ゼロゼロ融資返済で困っている事業所はないでしょうか。 質問3 物価高騰対策として市民全体に水道料金の免除等は考えられないでしょうか。</p> <p><u>2. ゼロカーボンシティ推進計画は実現可能か (市民文化部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>本年7月に発表された「可児市ゼロカーボンシティ推進計画」では、カーボンニュートラル実現に向けて、2030年までの取り組みが書かれているが、実現は可能か。いくつかの疑問点を聞く。</p> <p>質問1 人口減少による温室効果ガスの削減値20.7%は過大評価ではありませんか。 質問2 この1年間でGXの取り組みはどのくらい進みましたか。 質問3 費用対効果の薄いこれらの取り組みを本当に検討しますか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
7	天羽 良明 (可児未来)	<p><u>1. ジャンボタニシの防除対策について (経済交流部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>地域住民より田植え後の稲を食害するジャンボタニシを発見したとの声をきき現場で卵を確認した。食欲旺盛で繁殖力が強いジャンボタニシから本市の農業をどう守るか今後の対策を問う。</p> <p>質問1 ジャンボタニシを発見したと地域住民からお聞きした。市としてどう認識しているか。</p> <p>質問2 対策の第1歩として市民、農家への周知啓発をどのように行う考えか。</p> <p>質問3 ジャンボタニシ防除対策を行うため地域一丸となることが有効ではないか。</p> <p>質問4 地域共同で防除対策を行う場合に活用できる補助制度はあるか。</p> <p>質問5 ジャンボタニシ対応マニュアルを作成する考えはないか。</p>
8	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 現行保険証の廃止で、窓口業務への影響は (福祉部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>マイナカードに健康保険証を一体化し廃止する方針は愚策だ。医療現場に混乱を広げ国保行政にも迷惑である。マイナカードと健康保険証の紐づけの遅れから、受診時に病院窓口で使えない問題が噴出した。</p> <p>質問1 情報システム機構と可児市との情報連携について、マイナ保険証の登録までの管理責任はどこにあるか。機構か本市か。</p> <p>質問2 オンライン資格確認情報の不具合を発見したら、本市が直すのか否か。その場合の経費負担はどうか。</p> <p>質問3 年齢・所得・負担割合など医療機関、被保険者からの問い合わせなどオンライン資格確認システムへの対応はできるか。</p> <p>質問4 保険医療受診資格のない「無保険」の市民を生まないための対策はどうするか。</p> <p><u>2. インボイス制度は中止を～文化芸術分野から～ (市民文化部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>インボイス適格請求書の交付が義務化され免税事業者は10%の増税を強いられる。公共需要関連で、文化・芸術分野の事業で市の考えを聞く。</p> <p>質問1 可児市の公益財団等に関わる消費税免税事業者への取り扱いについて</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
9	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. キッズクラブの保育料減免及び昼食の提供について (こども健康部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>経済的負担が大きい住民税非課税世帯、兄弟姉妹の同時利用やひとり親世帯等のキッズクラブ保育料を減免してはどうか。また、長期休暇中の利用時に昼食を提供してはどうか。本市の見解を伺う。</p> <p>質問1 ひとり親世帯等のキッズクラブ保育料を減免してはどうか。 質問2 長期休暇時にキッズクラブで昼食を提供してはどうか。</p> <p><u>2. 近年の風水害を踏まえた防災の取り組みについて (総務部長、建設部長、福祉部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>近年の風水害を踏まえハザードマップの区域指定の再点検をしてはどうか。また、罹災証明書発行について官民連携に取り組んでどうか。さらに、認定基準の見直しはできないか本市の考えを伺う。</p> <p>質問1 洪水・土砂災害ハザードマップの区域指定について再点検してはどうか。 質問2 土砂災害警戒区域や浸水区域の水災害を想定した被災認定調査の実施体制について現況はどうか。 質問3 官民連携による罹災証明書発行の取り組みはどうか。 質問4 罹災証明書の認定基準の見直しはできないか。 質問5 ドローン操縦の国家資格を職員に取得させ活用してはどうか。</p>
10	田口 豊和	<p><u>1. バリアフリーと車いすの方の移動、障がい者雇用について (建設部長、福祉部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>街のバリアフリー、車いすユーザーの移動手段、障がい者雇用促進について可児市の見解や、取り組み状況は。</p> <p>質問1 バリアフリー化に対する取組状況は。 質問2 車いすユーザーの移動手段について市の取組状況は。 質問3 障がい者雇用の促進について、可児市ではどのような取組や支援をしていますか。</p>

2. オーガニック給食、低アレルギー給食について（教育委員会事務局長）

一括答弁方式

より安心な学校教育について可児市の見解や取組状況は。

質問1 学校給食でのオーガニック食材の利用について現状、課題、今後の取組みは。

質問2 アレルギーに対応した給食の提供について現状、課題、今後の取組みは。

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。